

見学者を誘うランダム配置の照明

コアレックス信栄富士川工場

Corelex Shin-ei Fujikawa factory

物件概要

竣工：2015年6月
所在地：静岡県富士市
施主：コアレックス信栄株式会社
設計：株式会社類設計室
施工：木内建設株式会社
電気工事：株式会社きんでん



1階エントランスホール

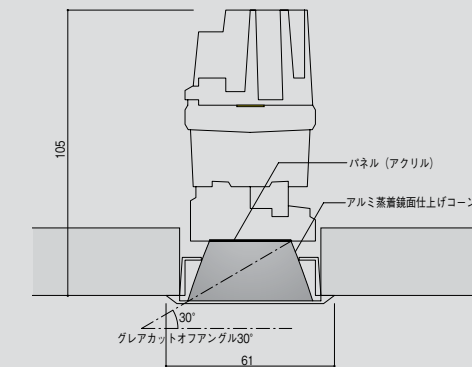


2階見学者ホール

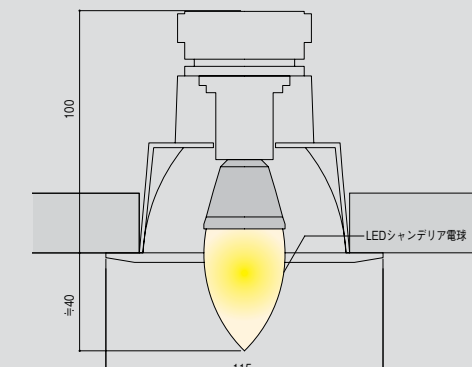
Lighting Point



2階見学者ホールリアルCG



φ55 グレアレスダウンライト断面 縮尺1/3



LEDシャンデリア球ダウンライト断面 縮尺1/3

輝度を利用したきらめきのある天井

天井に輝度をつくることや、タイプの異なる2種類のダウンライトを混在させることなど、リアルCGを用いてその効果などを細かく検証しながら計画した。グレアレスダウンライトと光源をあえて天井面から露出し輝度を持たせたLED電球ダウンライトを混在させることで、きらめきのある星空のような天井をつくり出した。見学者ホールではφ=55mmという小口径のグレアレスダウンライトを使用することで床面照度を確保し、限りなく目立たない存在となっている。



GREEN HALL 前の廊下。LED電球ダウンライトはGREEN HALL へ向かって疎から密に変化させた。



会議やセミナーを行うGREEN HALL。富士山の景色に視線が向かうようなライン照明とした。

訪れる人を意識した照度設定で雰囲気演出

コアレックス信栄株式会社の新本社と工場。古紙リサイクル技術や排水浄化システムなど世界最先端の環境対応型設備を保有する新工場は、周囲への騒音、振動、臭気などの配慮も徹底するとともに、広いエントランスホールやガラス張りの見学者ホールを設け、一般の見学者への開放も行うなど、従来の製紙業のイメージになかった、オープンかつクリーンで働きやすい開かれた工場を実現した。全館でLED光源を全面的に採用（殺虫灯、高温用照明を除く）し、環境性能に配慮した。エントランスホール、見学者ホールは

照度を低めに設定（エントランス195lx、見学者ホール119lx）し、見学者ホールから工場エリアを見学しやすいように配慮している（工場400lx）。また平常時から調光制御しており、掃除などのメンテナンス時は点灯率を上げて作業しやすくした。「小宇宙」、「最先端・クリーン」というコンセプトや「紙」、「水」というキーワードを表現する照明手法を各エリアで使い分けており、特に「小宇宙」を表すエントランス、見学者ホールでは輝度を利用した魅せる照明と目立たない機能照明を混在させる手法で特徴的な照明デザインでコンセプトを表現した。



草深 貴寛氏
株式会社類設計室
情報電気設計部門

「小宇宙」というコンセプトを光の主役に据えて表現しました。リアルCGの採用が、イメージを具体化しながらの検討や施主との合意形成に大いに貢献し、環境配慮型工場にふさわしい光環境を実現できました。



パナソニックEC担当：
和田 遼平
ソリューションライティングデザイン部
(東京)